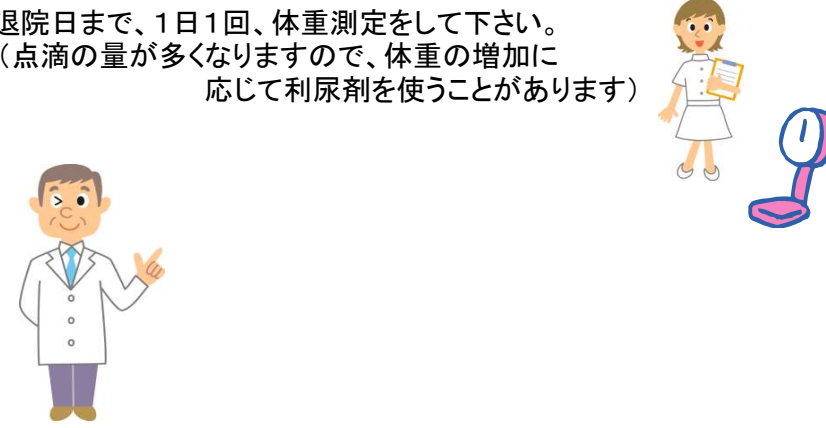
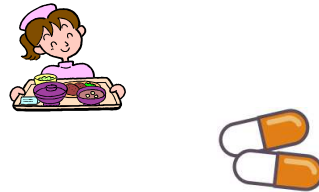


ID: 患者氏名: 様

	化学療法開始準備	化学療法(シスプラチン、ハーセプチン)	化学療法終了後
	入院日	投与日	退院日
	/	/	/ ~ 症状や副作用の改善具合で退院日を決定します。
目標	治療の経過がわかる	予定どおりに治療が終了する	不安なく退院後の日常生活をおくることができる
説明指導	- 入院生活について説明します。 - 尿をためる方法について説明します。 - 予測される副作用および予防法・出現時の対処法について説明があります。	- 点滴の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなった時は教えて下さい。医師・看護師が診察いたします。 - 副作用が出現した時は教えて下さい。症状を軽くするための注射や点滴などをいたします。	- 次回外来日について説明があります。 - 退院後、体調不良時は「外科外来」にお電話ください。 - 岩手医科大学付属病院 019-613-7111(代表)
治療 処置 点滴	退院日まで、1日1回、体重測定をして下さい。 (点滴の量が多くなりますので、体重の増加に応じて利尿剤を使うことがあります) 	○シスプラチン、ハーセプチンという抗がん剤を点滴します。	・採血が問題なければ退院可能です。
		スケジュール	抗がん剤の主な副作用
		- 朝6時から点滴がはじまります。機会を使用し、正確に点滴をします。 - 副作用の予防として、吐き気止め・利尿剤・ステロイド剤などの点滴をします。 - 尿をためてください。ため忘れた場合は看護師にお知らせください。	(投与開始直後～数時間) 発疹・発赤などのアレルギー症状 →抗アレルギー剤・ステロイド剤投与 (投与開始から1～2日後から) 吐き気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状 →吐き気止めの注射・点滴 (投与開始から数日経過してから) 白血球減少 → 白血球を増加する注射 下痢 → 整腸剤や下痢止め 口内炎 → 口内炎の内服薬や塗り薬 
検査	・採血があります。 		・採血があります。 
食事内服	- ふだんどおりの食事がかまいません。食事がとおりづらい方はお知らせください。 - 薬剤師が内服薬の確認をいたします。  - 水分摂取をしっかりとしましょう。	食欲がないときは無理に食事をとらなくてかまいません。食事形態の変更も可能です。 ○夕食後からカペシタビン内服を開始します。 	- 退院後も決まった日にちまでカペシタビンの内服を続けてください。 - 水分摂取をしっかりとしましょう。 1日1500ml(ペットボトル3本分)が目安です。
生活行動清潔	・歩行は自由です。 	- 化学療法でだるさが強いときは安静にして休みましょう - お風呂もつらいときは体をおふきしてします。 	投与スケジュール
その他症状	発熱のある場合は、化学療法を中止・延期いたします。医師・看護師にお話ください。	- 副作用のひどい時は、抗がん剤を減量したり、化学療法を中止します。 - いつでも医師・看護師に御相談ください。 	1コースを3週間として、以下のスケジュールで行う予定です。体調に応じて2コース目の開始は前後することがあります。次コースの開始前に効果判定の検査をおこないます。 シスプラチン、ハーセプチン点滴↓ 1週目 2週目 3週目 ←カペシタビン朝夕内服→

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わることがあります